

令和3年度 第1回 大阪府立東住吉総合高等学校 学校運営協議会 議事録

日時：令和3年7月29日（木）14：00～16：00

場所：大阪府立東住吉総合高等学校TRYルーム

1. 開会
2. 学校長挨拶
3. 委員紹介
4. 事務局員紹介
5. 協議
 - (1) 保護者からの意見書提出状況について：特になし
 - (2) 実施要項について：教頭から説明
 - (3) 「令和3年度学校経営計画」等について：校長から説明
 - 「令和2年度学校経営計画」
 1. 確かな学力の育成と主体的・対話的で深い学びの実現
 2. 社会とつながる力の育成
 3. 地域連携と広報活動の充実
 4. 生徒を支える校内体制の充実 についての説明と実績を報告
 - ・就職一次内定率 79.8% (R2)：70%以上維持に努める
 - ・資格取得割合（ボランティア、インターンシップ含む） 69.6% (R2)
 - ・4年生大学合格者数 31名 (R2)：大学入試難化傾向
 - ・年間遅刻者数 1,809名 (R2)：2,000名未満維持に努める
 - ・中退率 1.0% (R2)：H25は6.5%
 - ・部活動加入率 46.5% (R3)：50%台をめざす
 - 高等学校新学習指導要領の理念である育成すべき資質・能力の三つの柱と観点別学習状況評価（1. 知識・技能 2. 思考・判断・表現 3. 主体的に学習に取り組む態度）
 - 一人一台端末環境がもたらす学びの変容イメージについて
 - 東住吉総合高校の課題について
 1. 進学希望生徒への対策
 2. 「一人一台端末の活用」と「魅力ある授業づくり」をめざした改善
 3. コロナ禍の中での出口の保障
 4. 部活動の活性化
 - (4) 学校の現状：各分掌長等から簡単に説明

☆委員からの意見、質問等

- ・日本史の教科書選定にあたり、議論があったか。
⇒新カリキュラムでは日本史と世界史を併せた内容になっている。単なる暗記ではなく、中身を理解できるような内容にしようとして議論した。

- ・昨年度はコロナ禍で、4、5月の休校あけからのスタートとなり、生徒同志のコミュニケーションがとりにくかったことや、学校行事などが準備はしたのに実施できなかったなど、教員の大変さを感じた。
- ・マスクで顔を覚えられない話はショックだった。学校行事がやれるかどうかわからないなかで、クラス単位の遠足や校外学習ができればよいのだが。
- ・昨年、校内での活動を制限したなかで、体育祭の練習などを校外でやっていないか。
⇒校外ではしないようにさせている。
- ・学校経営計画の資料説明では、毎年の中身が少しずつ変化しており、その部分を太字で標記しているなど非常にわかりやすい、中学校でも参考にさせていただきたい。
- ・一人一台端末については大阪市の中学校では1月に配備された。4月後半から5月後半にかけて午前中2時間だけの登校期間に持ち帰らせて、午後家庭で過ごす時間帯にドリルなどの活用をした。2限目からの登校だったので、朝の学活は端末を用いた。双方向の授業を何度か試みたが、対面の授業ほど良いものがない。夏休みにはタブレットを用いて自由課題としてドリルをさせている。取り組み状況の把握もできる。
- ・短大では一人一台端末の配布を行っていない。一方でリモート授業を行っているが、スマホで受けている生徒もいる。Wi-Fi環境もまちまちである。個別に双方向で意見交換できることがメリットである。ただ、授業となると一方向になってしまう。ビデオ学習と変わらない。学生の反応を見ながら進める対面の授業のほうが優れている。マスクをしていることで学生の顔がわかりにくく、教員と学生の関係が築きにくい。行事中止は残念ではあるが、作り上げる段階で学習にはなっているのではないか。

○校長より

一人一台端末の学校での活用は決まっているが、内容は未定である。まずは教員の研修から始める。生徒は一人一台だが、教員には一台ずつはない。パワーポイントでスライドを準備し、モニターやプロジェクターを活用している教員が多いので、教員が全てスライド等を準備するのではなく、生徒が授業時間内に用語をインターネットで検索してスライドを作成したり、生徒が授業に関連する資料や動画を探すなど、教員が生徒と共に取り組みやすい内容から始めるのはどうかと考えている。

6. その他

(1) 第2回の協議会開催日程について

- ・9月28日(火)～10月1日(金)で調整

(2) 第3回の協議会開催日程について

- ・2月14日(月)～18日(金)で調整

7. 学校長より

8. 閉会